

資 料

- 1 令和2年度市町村における「障がい者の生涯学習」に関わる実態調査票
- 2 令和4年度生涯学習推進体制の整備状況調査票
- 3 令和4年度生涯学習に関する住民の意識調査票
- 4 令和4年度インクルーシブキャンプInほっかいどう
～すべては「ととのう」ために～事後アンケート調査用紙（足寄）
- 5 令和4年度インクルーシブキャンプInほっかいどう
～すべては「ととのう」ために～事後アンケート調査用紙（厚岸）

市町村における「障がい者の生涯学習」に関わる実態調査(調査票調査)
【調査票】

【調査の目的】

- 北海道教育委員会では、障がい者の生涯学習を推進するため、文部科学省の「地域における持続可能な学びの支援に関する実践研究事業」を受託し、地方公共団体を中心とした地域コンソーシアム形成モデルの構築を進めているところです。
- 本調査は、障がい者が行う学習活動に対して、市町村教育委員会等が実際に行っている支援、学習者等が求める支援等について調査し、障がい者の学習支援を含むモデルプログラムの開発や効果的に学習を支援するための具体的な体制の構築に資することを目的に行うものです。御協力をお願いいたします。

【記入の際の留意点】

- 回答は、貴市町村教育委員会の生涯学習・社会教育担当職員（社会教育主事等）が代表して、調査票に御記入ください。なお、「市町村名」「記入者職名・氏名」を忘れずに御記入ください。
- 本調査票には、セルや行の挿入、変更を行わないようにしてください。（「6」については、必要がある場合、「※」の指示通りに挿入してください。）

【調査票の返送】

- 調査票は、記入漏れがないことをお確かめのうえ、令和2年10月16日（金）までに、北海道立生涯学習推進センターに「本調査票（Excel形式添付）」で御回答ください。
- 調査票のファイル名の（ ）内には、市町村名を入れて提出してください。

【調査結果】

- 本調査の結果は、下記調査実施機関で集計・分析し、今後の「障がい者の生涯学習」の推進に向けた資料とさせていただきます。なお、御回答いただいた調査内容については、個人情報等、適切に取り扱い、目的以外で使用することはありません。また、集計結果は改めて市町村に提供します。
- 本調査の回答をもとに、「障がい者の生涯学習」の内容をより詳細に把握するための「聞き取り調査」の対象とさせていただく場合がありますので、御承知おきください。

【調査実施機関・問い合わせ先・調査票提出先アドレス】

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課生涯学習センターグループ
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階
TEL：011-231-4111（内線36-325） FAX：011-261-7431
担 当：尾山、田尾
e-mail：shougai.12@pref.hokkaido.lg.jp

【基本情報】

市 町 村 名				
所属部局担当				
連 絡 先	TEL		FAX	
	e-mail			
記入者職名・氏名	職名		氏名	

「障がい者の（障がい者も参加可能な）生涯学習活動」に関わる事業について

本調査においては「障がい者の（障がい者も参加可能な）生涯学習活動」に関わる事業を以下のように整理していますので、回答の際の参考としてください。ただし、これに合致するものであっても学校の教育課程に位置付けられているものは除いてください。

○内容として想定しているもの

①個人の生活に必要な知識・スキルを身に付けるもの

②社会生活に必要な知識・スキルを身に付けるもの

③職業において必要な知識・スキルを身に付けるもの

④スポーツ

⑤文化的な活動

⑥余暇・レクリエーション活動

⑦教養的な内容

⑧社会問題や時事問題に関する内容

⑨情報分野の知識・スキルを身に付けるもの

1 「主に障がい者を対象とした生涯学習活動」に関わる事業を主催していますか

※ どちらかに○を記入してください。

	回答欄
a 主催している	
b 主催していない	

2 「障がいの有無に関わらず参加可能な生涯学習活動」に関わる事業を主催していますか

※ どちらかに○を記入してください。

※ 本調査における「障がい者も参加可能な生涯学習活動」に関わる事業とは、「事前に障がい者が参加することを想定して、情報保障やアクセシビリティ（年齢や障がいに関係なく、だれでも必要とする情報に簡単にたどり着け、利用できること）等について検討してあるもの」を指します。

	回答欄
a 主催している	
b 主催していない	

3 教育委員会以外の部局で「主に障がい者を対象とした生涯学習活動」や「障がいの有無に関わらず参加可能な生涯学習活動」に関わる事業を主催していますか

※ いずれかに○を記入してください。

※ 「a」もしくは「b」と回答した場合は、連携・協力の内容の該当箇所に○を記入してください。

	回答欄		連携・協力の内容	回答欄
a 保健福祉部局が主催している		}	広報	
b その他の部局が主催している			会場提供（減免等含む）	
c 主催している部局はない			企画会議等への参画	
			事業運営支援	
			その他（ ）	
			協力関係はない	

- 62 -

- 4 教育委員会主催以外の域内の「主に障がい者を対象とした生涯学習活動」や「障がいの有無に関わらず参加可能な生涯学習活動」に関わる事業の概要を把握していますか
- ※ どちらかに○を記入してください。
- ※ 事業を「把握している」場合はその主催者に該当するすべての項目に○を記入してください。

回答欄

a 把握している

b 把握していない

右を回答後「5」へ

主催者

回答欄

障がい当事者の団体

ボランティア団体

PTA

親の会

その他の社会教育関係団体

小・中・高等学校（教育課程での実施は除く）

特別支援学校（教育課程での実施は除く）

大学

社会福祉協議会

社会福祉法人

NPO法人

企業

国や道の機関

その他

「6」へ（「5」は回答しないでください）

- 5 4で「a把握している」と回答した教育委員会主催以外の域内の「主に障がい者を対象とした生涯学習活動」や「障がいの有無に関わらず参加可能な生涯学習活動」に連携・協力していますか
- ※ どちらかに○を記入してください。
- ※ 活動に「協力している」場合はその主催者に該当するすべての項目に○を記入してください。
- ※ また、その協力の内容について、該当するすべての項目に○を記入してください。

回答欄

a 協力している

b 協力していない

主催者

回答欄

障がい当事者の団体

ボランティア団体

PTA

親の会

その他の社会教育関係団体

小・中・高等学校（教育課程での実施は除く）

特別支援学校（教育課程での実施は除く）

大学

社会福祉協議会

社会福祉法人

NPO法人

企業

国や道の機関

その他

連携・協力の内容

回答欄

広報

会場提供（減免等含む）

企画会議等への参画

事業運営支援

その他（ ）

6 貴市町村にある社会教育施設の状況について「◎」、「○」、「●」、「△」、「▲」、「×」で御回答ください。

(障がいごとの受入れの可否を問うものではありません。)

- 凡例 ◎・・・障がいに対して対応できる設備が充実しており、支援ボランティア等の受入体制もある
○・・・障がいに対して対応できる設備は充実しているが、支援ボランティア等の受入体制がない
●・・・障がいに対して対応できる設備があり、支援ボランティア等の受入体制もある
△・・・障がいに対して対応できる設備があり、支援ボランティア等の受入体制がない
▲・・・障がいに対して対応できる設備はないが、支援ボランティア等の受入体制はある
×・・・障がいに対して対応できる設備がなく、支援ボランティア等の受入体制もない

※ 欄が不足する場合は、一番右の欄の右に列を足して記入してください。

※ 対応できる設備について

- 例) 身体障がい(視覚)・・・点字ブロック、音声ガイドを整備している
身体障がい(聴覚)・・・映像資料へ字幕挿入をしている
身体障がい(肢体不自由)・・・施設をバリアフリー化している 等

※ 対応できる設備や支援ボランティア等の受入体制について

- 例) 身体障がい(聴覚)・・・手話通訳者等との協力体制がある
身体障がい(病弱)、知的障がい、他・・・支援ボランティアサークルがある 等

障害の種別	施設名	立例 博○ 物○ 館○ 町												
身体障がい(視覚)		◎												
身体障がい(聴覚)		○												
身体障がい(肢体不自由)		●												
身体障がい(病弱)		△												
知的障がい		▲												
精神障がい		×												
発達障がい		○												
その他		×												

7 「障がい者の生涯学習」に関する事業等の情報を域内の住民に提供していますか

- ※ どちらかに○を記入してください。
※ 事業を「提供している」場合はその方法に該当するすべての項目に○を記入してください。

回答欄		提供の方法		回答欄
a 提供している		広報誌への掲載		
b 提供していない		ホームページへの掲載		
		SNSの活用		
		チラシ、パンフレット等の配布		
		その他		

8 市町村が策定する教育全般に関する計画（教育振興基本計画等）に障がい者の生涯学習支援に関わる施策や事業の記載はありますか

- ※ どちらかに○を記入してください。
- ※ ある場合は、記載されている計画等の具体的な名称を記載してください。

回答欄

a 記載がある	
b 記載がない	

→

計画等の具体的な名称（代表的なものを5つまで）

9 教育委員会職員を対象に「障がい者の生涯学習活動」に関する研修を行っていますか

- ※ どちらかに○を記入してください。
- ※ 「a 行っている」と回答した場合はその時期や回数を記入してください。

回答欄

a 行っている	
b 障がいの理解等に関する研修は行っている	
c 行っていない	

→

時期（○月頃等）

回数

10 障がい者の生涯学習活動を推進する上での課題は何ですか。 上位5つを選んで当てはまるものに○をつけて回答してください。課題がない場合は「課題なし」に○をつけるだけで結構です。

回答欄

①課題なし	
②生涯学習活動に関するニーズの把握	
③生涯学習活動に関する体制の整備	
④生涯学習活動に関する事業・プログラムの開発	
⑤生涯学習活動の機会の充実	
⑥生涯学習活動に関する情報の提供	
⑦生涯学習活動を行う施設・設備等の整備	
⑧生涯学習活動に係る講師及び指導者の確保・養成	
⑨生涯学習活動に係るボランティアの確保・養成	
⑩特別支援教育や障がい者福祉等に関する専門的知見を有する生涯学習活動に係るコーディネーターの配置	
⑪生涯学習活動に係る専門職員（社会教育主事等）の専門性の向上	
⑫特別支援学校との連携	
⑬関係部局や関係機関・団体等との連携（特別支援学校を除く）	
⑭その他（)	

【入力に当たっての留意事項】

- 1 令和4年6月1日現在の状況を入力ください。
- 2 このセル（網掛け）のみ入力してください。前年調査から修正する部分は赤字で表示してください。
- 3 行・列の挿入はしないでください。前年入力済の欄を空欄とする場合はセルの色を黄色に変更してください。
- 4 項目によっては、ドロップダウンリストで選択する場合があります。

I 各種宣言について

	有無	宣言の名称	宣言年度
1 「生涯学習推進のまち」など、生涯学習の推進に係る宣言			
2 「生涯スポーツのまち」、「健康づくりのまち」などの推進に係る宣言			

II 各種構想・計画の策定状況について（各項目最大3つまで）※ホームページに掲載がある場合はURLを欄外右に記載

	有無	構想・計画等の名称	施行年度	終了年度
1 生涯学習の推進に向けた構想・計画（基本構想・基本計画等）				
2 社会教育の推進に向けた構想・計画（中期計画・単年度計画等）				
3 スポーツ活動の推進に向けた構想・計画				
4 文化芸術活動の推進に向けた構想・計画				
5 読書活動の推進に向けた構想・計画				
6 その他の構想・計画等				

III 生涯学習推進に係る附属機関・外部組織等の設置について

	有無	組織等の名称	人数	設置根拠
1 生涯学習審議会				
2 社会教育委員の会議				
3 スポーツ審議会				
4 文化審議会				
5 その他の生涯学習推進に係る外部組織等				

IV 生涯学習推進に係る行政組織・体制等について

	有無	組織等の名称
1 生涯学習課、社会教育課等、教育委員会の所管部署		
2 首長部局で生涯学習を所管している場合の所管部署		
3 生涯学習推進本部・会議等、行政内の連携を促進する組織・会議等		
4 生涯学習推進センター等、調査・研究機関		

V 子供たちを支える生涯学習活動の取組について ※「主な取組や事業」は代表例や特徴的なものを1つ入力してください。

	教育委員会		首長部局		関係団体・民間等	
	有無	主な取組や事業	有無	主な取組や事業	有無	主な取組や事業
1 子供たちに対する自然体験、ボランティア等の体験活動の機会						
2 読書環境の整備や読書活動を支援する人材の育成などの取組						
3 子供たちが異年齢・異世代とつながる場などの居場所づくりの取組						
4 地域住民が学校教育や放課後活動を支援する取組						
5 望ましいメディアへの接し方やコミュニケーションなど、子供たちの今日的な課題を学ぶ機会						
6 子育てや育児に関する学習の機会						
7 アウトリーチ型の家庭教育・子育て相談などの取組						
8 家庭教育サポート企業と連携して実施する家庭教育を支援する取組（子育て環境づくり等）						

Ⅶ 現代的課題等に関する学習機会について

※「主な取組や事業」は代表例や特徴的なものを1つ入力してください。

		教育委員会		首長部局		関係団体・民間等	
		有無	主な取組や事業	有無	主な取組や事業	有無	主な取組や事業
1	環境に関する学習 ・地域の自然環境やその保全、 「木育」など						
2	食に関する学習 ・「食育」や食をとおした地域の 活性化など						
3	国際理解に関する学習 ・諸外国の人々とお互いの文化、 習慣等の理解など						
4	超高齢社会に関する学習 ・生活習慣病の予防、日常の介護 など						
5	防災に関する学習 ・自然災害等の危険性や安全な行 動など						
6	男女平等参画に関する学習 ・女性の人権尊重やハラスメント など						
7	安全・安心な生活に関する学習 ・疾病、犯罪、交通事故等の生 命・健康や防犯ボランティアなど						
8	消費生活に関する学習 ・悪質商法、訪問販売、金融など						
9	人権に関する学習 ・ドメスティックバイオレンス、 児童虐待、ネットトラブルなど						
10	障がい者福祉に関する学習 ・福祉制度や福祉のまちづくりな ど						
11	地域活動に関する学習 ・ボランティアや地域活動など						
12	子どもの貧困に関する学習 ・家庭が抱える経済や生活環境、学習 機会の格差の問題など						

Ⅶ 障がい者の生涯学習の推進について

(1) 貴教育委員会の域内で住民が参加できる障がい者の生涯学習活動に関する以下の情報を収集・把握していますか。

	該当するものに○
情報を収集・把握している	
情報を収集・把握していない	

(2) (1)で「把握している」と回答した場合、下記で該当するものを選択してください。（複数回答可）

	該当するものに○
1 教育委員会の主催事業（出先機関が主催するものを含む）	
2 首長部局の主催事業	
3 教育委員会が後援・関与する事業	
4 国が行う事業	
5 都道府県が行う事業	
6 特別支援学校等の学校による事業	
7 大学等による事業	
8 その他（社会福祉法人、NPO法人、民間企業等）	

Ⅷ 生涯学習推進上の課題について

課題項目	程度
1 住民の生涯学習に対する意識やニーズの把握	
2 住民に対する生涯学習の普及・啓発	
3 行政職員に対する生涯学習の普及・啓発	
4 生涯学習担当職員の増員や予算の増額などの人的・物的整備	
5 生涯学習を推進する施設や設備の整備	
6 学習情報の提供や相談体制の整備	
7 生涯学習推進協議会等、生涯学習を推進する住民組織の整備・充実等	
8 生涯学習推進本部等、生涯学習を推進する行政内組織の整備・充実等	
9 学校・家庭・地域の連携の促進	
10 他の市町村にはない特色のある事業、施策の創出	
11 生涯学習指導者やリーダー的人材の養成	
12 生涯学習を推進する団体・サークルの育成	
13 学習した成果を生かす場や方策の検討	
14 その他	

具体的に記入ください

5 極めて重要である
4 重要である
3 どちらともいえない
2 あまり重要ではない
1 全く重要ではない

令和4年度(2022年度) 生涯学習に関する住民の意識調査



生涯学習とは…

「生涯学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など、様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。また、人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価される社会を指すものとして、「生涯学習社会」という言葉も用いられます。（文部科学白書2018より引用）

アンケート調査にご協力をお願いいたします。



👉 アンケートフォーム

このアンケート調査は、Googleフォームによる回答が可能です。左のQRコードをスマートフォン等で読み込むことにより、アンケートフォームから同じ調査に参加いただけます。

ウラ面を見ながら回答してください👉

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

ボランティア活動



野球やサッカーなどの
スポーツ活動



将棋教室



学校での勉強



ぜんぶ

「生涯学習」 です。



ヨガ



研修会や講習会への参加

インターネット講座



家で読書



語学学習



料理教室



自治会活動



書道教室



自然体験



美術館で作品鑑賞



図書館での調べ物



学校での勉強も、いろいろなスポーツに挑戦することも、会社でスキルアップのために研修を受けることも、キャンプなどの自然体験も、地域清掃や防犯パトロールなどのボランティア活動も、習い事、将棋や囲碁などの趣味活動も、読書や家庭での勉強も、すべて生涯学習です。生涯学習は、知識の習得、能力の向上などによる自己実現のためだけでなく、生きがいや心の充足、充実したゆとりある生活を創出するために自ら学ぶことも含んでいます。上に挙げた様々な活動は、生涯学習のほんの一部です。

学校教育も、社会教育も「生涯学習の一部」

生涯学習は、わたしたち一人一人が自らすすんで行うことを基本とするものです。

生涯学習は、できるだけ自分にあったやり方を選びながら生涯を通じて行うものです。

生涯学習は、学校や地域社会の中で行われるだけでなく、様々な機会に行われるスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動なども含むものです。

今回のアンケートは、この1年間の中で「何かひとつでも生涯学習活動をしたことがあったか」をお伺いするところから始まります。「生涯学習」だと意識せずに活動していても、振り返ると、「生涯学習」に当てはまるものだったということもあります。この1年の自分の活動をゆっくり振り返りながら、アンケートへのご協力をお願いいたします。



アンケートフォーム

生涯学習に関する住民の意識調査 [調査票]

<調査の趣旨>

このアンケートは、普段、皆さんが生涯学習についてどのような考えをおもちになっているかを調査することにより、北海道らしい生涯学習社会の実現に向けた施策の方向性等を検討するための資料とするものです。

御多忙中のところ、誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき、率直な御意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

<記入に当たってのお願い>

- お答えいただく方のお名前や住所などは、記入する必要はありません。
- 質問には、回答を1つだけ選んでいただく質問、複数選んでも構いませんが、回答数が制限されている質問や回答数に制限のない質問がありますので、注意してください。
- 回答の際は、質問ごとに用意した選択肢の中から、あなたのお考えにあてはまる選択肢の番号を○印で囲んでください。「その他」に○印をつけた方は、()内に具体的な内容を記入してください。
- 一部の方だけに答えていただく質問もありますが、その場合は説明文がありますので、指示にしたがってお答えください。

<調査票の御返送について>

- 回答を御記入いただいた調査票は、記入漏れのないことをお確かめの上、市町村(教育委員会)の担当者にお渡しください。(お名前や住所の記入は不要です。)

<使用目的と調査票の破棄>

- この調査票に記入された内容については、統計処理以外の目的に使用することはありません。
- 集計後の調査票は、責任をもって処分しますので、個人の秘密は守られ、御迷惑がかかることはありません。

◆調査についての問い合わせ先◆

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課 人材育成・開発グループ 兼
北海道立生涯学習推進センター 担当：松浦、斉藤

TEL：011-204-5782 FAX：011-261-7431

「生涯学習」について

この調査における「生涯学習」とは、人々が生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や公民館における社会教育など、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動など、さまざまな学習活動のことをいいます。

問1 あなたは、この1年くらいの間に「生涯学習」を行いましたか。次の中から1つだけお選びください。

- | | | |
|--------------------|---|-----------------|
| 1 生涯学習を行(おこな)った | ⇒ | 問1-1、問1-2、問1-3へ |
| 2 生涯学習を行(おこな)っていない | ⇒ | 問2へ |

[問1で「1 行(おこな)った」と回答された方のみにお聞きます]

問1-1 あなたは、その学習活動をどのような場所や形態で行いましたか。次の中からあてはまるものをいくつでもお選びください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座や教室 |
| 2 カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育 |
| 3 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室 |
| 4 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程 |
| 5 職場の教育、研修 |
| 6 同好会が自主的に行っている集まり、サークル活動 |
| 7 図書館、博物館、美術館 |
| 8 テレビやラジオ |
| 9 情報端末やインターネット |
| 10 自宅での学習活動(書籍など) |
| 11 ボランティア活動など地域での活動とおとしての学習 |
| 12 その他(具体的に：) |

[問1で「1 行（おこな）った」と回答された方のみにお聞きします]

問1-2 あなたがこの1年くらいの間に行った学習活動について、次の中からあてはまるものをいくつかもお選びください。

1	趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）
2	教養的なもの（文化、歴史、科学、語学など）
3	社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）
4	健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
5	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
6	育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
7	就職や転職のために必要な知識・技能（就職や転職に関係のある知識の習得や資格の取得など）
8	職業において必要な知識・技能（現在の仕事のスキルアップや仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
9	情報通信分野の知識・技能（SNSの利用の仕方など）
10	ボランティア活動のために必要な知識・技能
11	自然体験や生活体験などの体験活動
12	その他（具体的に： _____）

[問1で「1 行（おこな）った」と回答された方のみにお聞きします]

問1-3 あなたは、その学習活動を通じて身につけた知識・技術や経験をどのように生かしていますか。次の①～⑦のそれぞれについて、1～6から1つだけお選びください。

	生 か し て い る	い え ど る ば ち 生 ら か し と 言	言 ど え ち な い と も	い え ど な ば ち い 生 ら か し と 言	い 生 か し て い な	わ か ら な い
① 仕事や職業で生かしている	1	2	3	4	5	6
② 資格の取得に役立てている	1	2	3	4	5	6
③ まちづくりやボランティア活動などに生かしている	1	2	3	4	5	6
④ 子どもたちを育むための活動に生かしている	1	2	3	4	5	6
⑤ 他の人（子どもたちを除く）の学習やスポーツ活動、文化活動などの指導に生かしている	1	2	3	4	5	6
⑥ 自分の人生をより豊かにしている	1	2	3	4	5	6
⑦ 自分の健康維持・増進に役立てている	1	2	3	4	5	6

[問1で「2 行（おこな）っていない」と回答された方のみにお聞きします]

問2 この1年間で「生涯学習」を行わなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものをいくつかもお選びください。

1	仕事が忙しくて時間がない	2	特に必要がない
3	きっかけがつかめない	4	家事・育児・介護などが忙しくて時間がない
5	身近なところに学習する場がない	6	時間帯が希望に合わない
7	学習するための費用がかかる	8	学習より優先したいことがある
9	一緒に学習する仲間がいない		
10	学習するのに必要な情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない		
11	学習したい内容の講座が開設されていない		
12	学習しても職場から評価されない		
13	その他（具体的に： _____）		

[問3からは全員お答えください]

問3 あなたは、現在の生活や生きがいについて、どのように感じていますか。次の①・②のそれぞれについて、1～6から1つだけお選びください。

	と も 思 う	言 ど え ち ら 思 か う と	言 ど え ち な い と も	思 言 ど わ え ち な ば ら か と	い 全 く 思 わ な	わ か ら な い
① あなたは現在の生活に満足していますか。	1	2	3	4	5	6
② あなたは生きがいを感じて生活していますか。	1	2	3	4	5	6

問4 あなたは、お住まいの地域の生涯学習の実態について、どのように思いますか。次の①～⑩のそれぞれについて、1～6から1つだけお選びください。

		とても 思う	言 え ど ち ら ば ら か う と	言 え ど ち な い と も	思 言 え ど ち ら ば ら か う と	い 全 く 思 わ な い	わ か ら な い
①	お住まいの地域には、学習した成果を生かす場や機会が充実していると思う	1	2	3	4	5	6
②	お住まいの地域では、住民が自ら学習に取り組もうとする人が多いと思う	1	2	3	4	5	6
③	お住まいの地域では、インターネットを活用した学習やそれを支援する仕組みが充実していると思う	1	2	3	4	5	6
④	お住まいの地域では、役場等の行政機関がNPOやボランティア団体と協働した取組を活発に行っていると思う	1	2	3	4	5	6
⑤	お住まいの地域では、自治会・町内会などの活動が活発に行われていると思う	1	2	3	4	5	6
⑥	お住まいの地域には、子どもたちが多様な体験活動をする場や機会が多いと思う	1	2	3	4	5	6
⑦	お住まいの地域では、子どもたちの読書活動が充実していると思う	1	2	3	4	5	6
⑧	お住まいの地域では、子どもたちが異年齢・異世代と交流する場や心を落ち着けられる居場所が充実していると思う	1	2	3	4	5	6
⑨	お住まいの地域では、多くの地域住民が子どもたちの活動に関わりを持っていると思う	1	2	3	4	5	6
⑩	お住まいの地域では、家庭教育や子育てに関する学習・相談の機会が充実していると思う	1	2	3	4	5	6

問5 あなたは、日常生活の課題について、どのように捉えていますか。次の①～⑫のそれぞれについて、1～6から1つだけお選びください。

		で大 あ き な 課 題	課 言 え ど ち ら ば ら か う と	言 え ど ち な い と も	で言 え ど ち ら ば ら か う と	い課 題 で は な い	わ か ら な い
①	地球温暖化や自然環境の保全など、環境に関すること	1	2	3	4	5	6
②	安全・安心な食材や望ましい食習慣など、食に関すること	1	2	3	4	5	6
③	異文化の理解や交流など、国際理解に関すること	1	2	3	4	5	6
④	介護や孤独死、地場産業の担い手不足など、超高齢社会に関すること	1	2	3	4	5	6
⑤	災害の危険性に関する理解や共助体制など、防災に関すること	1	2	3	4	5	6
⑥	女性の人権尊重や社会進出の促進など、男女平等参画に関すること	1	2	3	4	5	6
⑦	犯罪や交通事故、疾病など、安全・安心な暮らしに関すること	1	2	3	4	5	6
⑧	悪質な販売方法や特殊詐欺など、消費者教育に関すること	1	2	3	4	5	6
⑨	児童虐待やプライバシーの侵害など、人権に関すること	1	2	3	4	5	6
⑩	障がい者への配慮など、だれもが暮らしやすいまちづくりに関すること	1	2	3	4	5	6
⑪	ボランティアや地域の活性化など、地域活動に関すること	1	2	3	4	5	6
⑫	家庭の経済や生活環境、学習機会の格差など、子どもの貧困に関すること	1	2	3	4	5	6

問6 あなたは、各地域活動やボランティア活動の参加についてどのように考えていますか。次の①～⑤のそれぞれについて、1～5から1つだけお選びください。

	し 今と 参 た 後 が 加 い も あ し 参 り た 加 こ	た 参 が と 参 い 加 、 が 加 し 今 な し て 後 い た み は	な 参 が と 参 い 加 、 が 加 し 今 あ し た 後 る た こ	し 今と 参 た 後 が 加 い も あ し 参 り た 加 こ	わ か ら な い
① 学校教育を支援する活動	1	2	3	4	5
② 生活課題を抱える人や子育てなどを支援する活動	1	2	3	4	5
③ ボランティア活動や災害復旧などを支援する活動	1	2	3	4	5
④ 地域活性化などのまちづくりや子ども会指導、自治会活動	1	2	3	4	5
⑤ 自然保護の活動やリサイクル運動などの環境保全などに関する活動	1	2	3	4	5

※生活課題の例：障がい・高齢者など家族の問題、不登校・いじめなど子どもの問題、近所トラブル、DV、独居など（内閣府の調査から）

問7 多くの人が地域活動や社会活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもお選びください。

1	地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけづくり
2	地域や社会での活動に関する情報提供
3	活動の成果が社会的に評価されること
4	交通費などの必要経費の支援
5	コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること
6	わからない
7	その他（具体的に

問8 あなたは、機会があれば再び学びたいと思うものはありますか。次の1～16からいくつでもお選びください。

1	日本語による実用的な文章表現やコミュニケーションの方法に関すること
2	文学や古典（古文や漢文）の理解に関すること
3	日本や世界の歴史・地理に関すること
4	法律や政治、経済、国際関係に関すること
5	宗教や哲学に関すること
6	心理学に関すること
7	自然科学や数学に関すること
8	健康やスポーツに関すること
9	芸術文化（音楽、芸術など）に関すること
10	外国語に関すること
11	消費生活、衣食住などに関すること
12	情報通信分野（SNSの利用の仕方など）に関すること
13	工業技術（情報通信に関するものを除く）に関すること
14	農林水産業に関すること
15	経営ビジネス（起業、財務会計、マーケティングなど）に関すること
16	医療や福祉（子育て、保育、介護など）に関すること

◇最後にあなた自身のことについておたずねします。

■ 市町村名を記入してください。

市町村名	
------	--

■ 性別・職業・年齢の該当する番号に○印をつけてください。

性別	1. 男 2. 女	職業	1. 学生 2. 会社員・公務員 3. パート・アルバイト 4. 自営業 5. 無職
年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上		

■ 「まちづくり」や「むらおこし」などのボランティア団体や、NPO等に所属していますか。

1. はい（団体名：	）	2. いいえ
------------	---	--------

■ 道民カレッジ※の受講生ですか。

1. はい 2. いいえ

※道民カレッジは、北海道知事を学長としており、だれでも、いつでも、入学することができます。また、受講生は学んだことを地域で生かすことができます。

ご協力ありがとうございました。 調査票は市町村の担当者にお渡しください。

令和4年度 文部科学省委託事業「障害者の生涯学習推進コンソーシアム形成事業」【調査研究事業】
「インクルーシブキャンプIn ほっかいどう～すべては「ととのう」ために～」事後アンケート

このたびは、インクルーシブキャンプの事業にご参加いただき、ありがとうございました。

今後、障がい者の方へ効果的に学習を支援するための参考にしたいので、アンケートへのご協力を
をお願いします。障がい当事者の視点から見たプログラムの内容や施設の利用について、感想や課題点
などをお書きください。

なお、報告書には匿名で記載し、個人が特定されることはありません。

1. 氏名をお書きください。

氏名	
----	--

2. 事業に参加してあなたが感じたことをお答えください。

回答は各設問について、下記の4～1の区分の中から1つを選んで○をつけてください。				
〔 4 満足	3 やや満足	2 やや不満	1 不満	〕 ・ 自由記述

(1) 事業の実施内容について

実施内容	満足度	自由記述欄（感想・要望など）
①事業全体（日程、内容等）	4 3 2 1	
②事業のプログラム（活動）	4 3 2 1	
③事業の運営（しおり、説明等）	4 3 2 1	
④職員の指導・助言や対応	4 3 2 1	
⑤その他（ ）	4 3 2 1	

(2) 体験活動プログラムについて

プログラム	満足度	自由記述欄（感想・要望など）
①テントサウナ体験	4 3 2 1	
②ボッチャ体験	4 3 2 1	
③コーヒー教室	4 3 2 1	

(3) ネイパルの施設について

施設	満足度	自由記述欄 (感想・要望など)
① 食堂 (食事を含む)	4 3 2 1	
② 玄関	4 3 2 1	
③ 研修室 (活動場所)	4 3 2 1	
④ トイレ・洗面所	4 3 2 1	
⑤ 浴室	4 3 2 1	
⑥ 寝室	4 3 2 1	
⑦ その他 ()	4 3 2 1	
⑧ 総合評価	4 3 2 1	

3. この事業に参加した感想などをご自由にお書きください。

4. その他、ご意見やお気づきの点がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

問合せ先 北海道立生涯学習推進センター

TEL 011-204-5782

令和4年度 文部科学省委託事業「障害者の生涯学習推進コンソーシアム形成事業」【調査研究事業】
「インクルーシブキャンプIn ほっかいどう～すべては「ととのう」ために～」事後アンケート

このたびは、インクルーシブキャンプの事業にご参加いただき、ありがとうございました。

今後、障がい者の方へ効果的に学習を支援するための参考にしたいので、アンケートへのご協力を
をお願いします。障がい当事者の視点から見たプログラムの内容や施設の利用について、感想や課題点
などをお書きください。

なお、報告書には匿名で記載し、個人が特定されることはありません。

1. 氏名をお書きください。

氏名	
----	--

2. 事業に参加してあなたが感じたことをお答えください。

回答は各設問について、下記の4～1の区分の中から1つを選んで○をつけてください。				
〔 4 満足	3 やや満足	2 やや不満	1 不満	〕 ・ 自由記述

(1) 事業の実施内容について

実施内容	満足度	自由記述欄（感想・要望など）
①事業全体（日程、内容等）	4 3 2 1	
②事業のプログラム（活動）	4 3 2 1	
③事業の運営（説明等）	4 3 2 1	
④職員の指導・助言や対応	4 3 2 1	
⑤その他（ ）	4 3 2 1	

(2) 体験活動プログラムについて

プログラム	満足度	自由記述欄（感想・要望など）
①フィットネスマシン体験	4 3 2 1	
②テントサウナ体験	4 3 2 1	

(3) ネイパルの施設について

施設	満足度	自由記述欄（感想・要望など）
① 食堂（食事を含む）	4 3 2 1	
② 玄関	4 3 2 1	
③ 研修室（活動場所）	4 3 2 1	
④ トイレ・洗面所	4 3 2 1	
⑤ 浴室	4 3 2 1	
⑥ その他（ ）	4 3 2 1	
⑦ 総合評価	4 3 2 1	

3. この事業に参加した感想などをご自由にお書きください。

4. その他、ご意見やお気づきの点がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

問合せ先 北海道立生涯学習推進センター
TEL 011-204-5782

本調査研究に関するお問い合わせ

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 7 丁目「かでる 2・7」8 階
北海道立生涯学習推進センター

電話 011-204-5782

FAX 011-261-7431

E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp

HP「生涯学習ほっかいどう」

<https://manabi.pref.hokkaido.jp/index.html>

調査研究報告書（第 45 号）

令和 5 年 3 月発行

編集・発行 北海道立生涯学習推進センター
〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 7 丁目
電話 011-204-5782